

Go!Go!



フロンティア

《フロンティア合言葉 3つの本気》

1. 本気ですれば大抵のことは出来る
2. 本気ですれば何でも面白い
3. 本気ですれば誰かが助けてくれる

株式会社 富士電機フロンティア
(富士電機株式会社 特例子会社)

神奈川県川崎市田辺新田1番1号
電話 044-329-2380 / FAX 044-329-2381
発行責任者：西村 平和

<http://www.fujielectric.co.jp/frontier/>

雇用の拡大と自立 創立二十周年を目指して

取締役業務部長 西村 平和

『事業を発展させ雇用の拡大を図りながら自立を目指そう』との当社の理念に基づき、平成6年3月に発足した富士電機フロンティアも、今年度で19年目を迎えました。一昨年より新3ヶ年計画として

- 一 計画的に雇用を継続していきこう
- 二 そのために働く場所を皆で開拓しよう
- 三 自立をめざして企業人、社会人として成長しよう

を目標に掲げて活動をしてきました。結果、昨年は5名、この4月には4名の新入社員を迎えることができ、社員76名、スタッフ26名となり念願の100名を超える会社に成長することができました。

働く場所の開拓においては、親会社のご支援をいただき、1月に三重事業所鈴鹿分室、3月に関西事業所を開設し、4月には大崎分室を事業所に昇格させました。また、吹上事業所において新たに埼玉地区のメール業務と清掃業務に取り組んでもらうことにしました。

川崎事業所はタービンブレードの面取り、東京事業所は能力開発センターの食堂支援とベッドメイキング、大崎事業所は業務支援事業、三重事業所は自販機のライン業務等、すべての事業所で新しい仕事に挑戦しており、大変頼もしく感じています。



その結果、売上高も初めて7億円を達成し、利益も予算以上に出すことができました。

また、技能の向上においては、神奈川県や東京都の障害者技能五輪に12名が参加し6名が受賞しました。埼玉県で行われた『全国障害者ワーキングフェア2011』にも出店し、各事業所代表の皆さんと技能交流を図る事ができました。このような成果が上げられたのも、皆さん一人ひとりが高い目標を持って努力した結果であり、自信と誇りを持って欲しいと思います。同時に、この成果は全富士電機従業員の皆様やフロンティアOBの皆様の、暖かいご支援のおかげであり、感謝の気持ちを忘れてはなりません。今年度も3ヶ年計画の最後の年として引き続き、一人でも多くの仲間が働けるように力を合わせて頑張ります。

最後に、来年は創立20周年を迎えます。お世話になった方々と全社員の皆さんが一堂に会して、成長の喜びを語る場所を提供できればと思っています。楽しみにしていってください。

全国、そして世界へ！ 富士電機フロンティア

第10回東京アヒリンピック

一緒に長野へ行こう！

第10回東京障害者技能競技大会（東京アヒリンピック）が、平成24年2月18日（土）に小平市の東京障害者職業能力開発校で開催されました。

この大会は、障害者の職業能力開発を促進するとともに、障害者に対する社会の理解と認識を高め、その雇用の促進と地位の向上を図ることを目的として開催されるものです。

当日は6競技に54名の選手がエントリーし、東京事業所もオフィスアシスタント競技に和地さん、パソコンデータ入力競技に藤木さん、喫茶サービス競技に斉藤さんと小林さんの計4名が出場し、結果は和地さんが金賞、斉藤さんが銅賞、小林さんが努力賞と今年も良い結果を修めることが出来ました。



左から、斉藤さん・和地さん・小林さん

今年は大大会に向けて川崎・大崎事業所でデモ大会を開催してもらい、お互いの技量を高め合い、同時に交流も深めることが出来ました。そして「一緒に長野へ行こう！」と全国大会出場約束を交わしました。



パソコンデータ入力競技は、競技時間1時間半の孤独な戦いです

オフィスアシスタント競技、 全国採用に

川崎事業所は一昨年の神奈川県大会でオフィスアシスタント競技のデモンストレーションを行ったり、昨年の静岡全国大会でゲスト出演をしたりと、競技の全国採用に向けて地道な活動をしてきました。それが功を奏し、長野大会よりオフィスアシスタント競技の新規採用が決定しました。

いよいよ全国へ・・・

既に神奈川県大会のパソコンデータ入力競技で、金賞を取っている大崎分室の原さんと、東京事業所の和地さんは、今年10月開催の長野全国大会の出場権を確保しました。フロンティアがいよいよ全国大会で活躍します。皆さん、応援よろしくお願います。
(渡辺)

突撃！密着リポート

ものづくりを通して社会貢献をめざそう

(突撃リポーター：東京事業所 渡辺)

＜昨日より今日一步前進＞フロンティア三重事業所

2月3日、東京事業所の研修旅行に便乗し、1日早く三重を訪れた。フロンティア三重事業所の社員は、自動販売機で国内シェアNo.1の富士電機リテイリステムズ三重工場内で、自動販売機に使用される部品24種類の組み立てを担当している。

『ガシャ、ガシャ』というリズムの良い音と、藤田課長以下17名の明るい挨拶に歓迎され職場に入った。その音の正体は主力部品であるフラッパー組立であった。8名の社員が黙々とフラッパーにバネを挿入していた。多い時で1日4万個(!)を組み立てる。そのスピードと集中力には目を見張るものがあった。



フラッパー組立作業



目標パネルを前に(ステッカー貼り)

Time is money (時は金なり)

フラッパー以外でもクッション貼り・紙管組立・ステッカー貼り・化粧枠組立・本体化粧枠組立等の作業があり、社員は真剣に作業台に向かっていて。コインシュータ組立は、目標：1箱(50個)を5分間、12箱(600個)を1時間、と各自『目標パネル』を前に作業している。大半の社員が『何個・何箱出来るかが私の目標です』と胸をはって答えてくれた。

「組立部門では1つでも多くの部品を作らねば売上げに貢献できないし、また自分達の給料にも反映されない。だから1秒でも2秒でも時間を大切に使うて欲しい」藤田課長はいつも社員にそう話しているそうだ。試しに私も数工程、時計を見ながら挑戦してみた。1箱はなんとか時間内でカバー出来たが、それが1時間...5時間となるととても集中できそうもない。

多能工化への対応

自販機も毎年新型になる事によりコストダウンされ、部品件数や部品組立が減少している。フロンティアラインとしては少種多量生産が望ましいが、実際は多種少量生産に移行しており、その中で仕事量を確保していくためにも、社員1人1人があらゆる組立に対応していかなければならない。日々のオーダー、台数、時間を考慮しながらの組み立ても必須である。

そんな中、組み立てた部品を、1日500台近く生産される自販機ラインの各専用置き場に社員達が自主的に納品している姿が見られた。



さあ、ラインに投入してきます



コインシュータ組立

「むずかしかった～」

翌日、東京のメンバーがやってきた。さっそく三重の社員とマンツーマンで、30分交代で2工程組立の指導を受けた。東京の社員たちの感想は「むずかしかった」「大変だった」「つかれた!」。そう、大変なんだよ、三重の社員は毎日この作業を繰り返しやっているんだよ。

どうして働くの？

『どうして働くの？何のために働くの？なぜ働かなくてはいけないの？』の掲示が心に残る。その答えは『親からの自立をめざし、自分のために働く』であり、自立とは ①働いて給料をもらい自分で生活ができるようにする。②将来のためにお金を貯める。③計画をたてて自分のためにお金をつかう。④働いて社会の役にたてるように頑張る ということである。

事業所毎に環境や地域性、業務内容も異なるが、どこの社員も自立に向け真剣に日々の業務に励んでいる。三重事業所の取材を通じ改めて『社員の自立』に少しでも役立つようスタッフ一同頑張らねば!という気持ちを強くした2日間でした。



午後も頑張ろう！(リフレッシュ休憩)

東京からのラブレター

三重事業所の皆さん、研修旅行の時は大変お世話になりました。仕事の中のお忙しい中、お邪魔し、体験やお昼まで一緒にして頂きありがとうございました。私たちは今まで三重の方々との交流が持てなかったのですが、フロンティアのメンバーが仕事に真剣に取り組み、体験の時には手順を優しく教えて頂きました。三重のメンバーは『ものづくりのプロ』だなと思いました。

三重の皆さんが毎日している仕事を体験させて頂き、私たちが一番感じたことは、部品の数をこなすのが大変だということです。

東京は三重とやっている仕事が違うので、こちらへ来た際にはぜひ体験してみてください。(東京事業所 武田・大橋・八谷・和地)



東京メンバーの体験研修

事業所 ポイントックス

《吹上事業所》

埼玉地区に分室誕生！
心を引き締め頑張ろう

今年1月より、旧前砂地区跡に富士電機設備技術センター及び埼玉地区が開設され、それに伴いフロンティア吹上分室（メールセンター）も開設されました。

埼玉地区は吹上地区より東に向かい車で10分程の場所にあり、ます。本格的に設備技術センターが機能する5月頃までは、職場の移動と平行して、メールの仕事も増加します。我々吹上分室（埼玉地区）も次工程（お客様）に喜ばれる仕事をするために、またさらに

フロンティア吹上事業所発展のために、全員で毎日心を引き締め頑張っています。（石川）



新しい場所でもお客様に喜ばれる仕事をします！

心に記す貴重な1ページ

去る2月8日の定時間後、熊谷市内にあるガーデンパレスにて、吹上事業所『5周年記念式典』が開催されました。当日は社員全員が着慣れないスーツ姿で参加しましたが、皆



この瞬間も、いつか懐かしい思い出に変わるのでしようか

それぞれ、それなりに様になっていて、成長した姿に感激しました。仕事のことや趣味・特技等、ご来賓の前での発表を控えていたため、皆それが終わるまでは緊張していたようでしたが、とても立派な発表が出来、そのことにまたまた感激しました。

吹上事業所初めての式典で、社員の成長を感じられた貴重な1ページとなりました。（福島）

《大崎事業所》

気合もじゅうぶん “分室から事業所へ”

3月2日金曜日18時より、大崎駅隣接の会場にて『川崎事業所大崎分室5周年記念式典』を52名の参加で実施しました。



司会はメールの三宅さんが行い、社長をはじめ会場の多数の方々よりお褒めの言葉を頂きました。式典は林社長、ご来賓の方のご挨拶と祝辞、経過報告、乾杯と続き、4月1日より大崎の事業所長となられる、人事室竹井総務部長のご挨拶も頂きました。

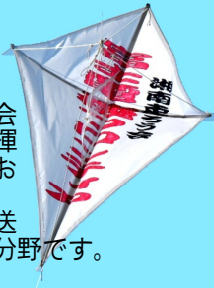
最後に大崎分室の社員・指導員の決意の言葉を、各自がメモなしで発表し、事業所スタートに向け社員の「やるぞ！」が伝わりました。（岩間）

可能性への挑戦

《お仕事をお手伝いします》

フロンティアでは障害者の就業機会の確保や、社員が更なる能力を発揮するために職域の拡大を目指しております。パソコンへの入力作業や袋詰め発送作業等、単純繰り返し作業は得意分野です。単発の仕事も大歓迎です。

ぜひ皆様方の周りにある仕事をお手伝いさせてください。そしてお任せください。ご用命は各事業所の業務担当まで。



ヤスリでブレードのバリを取っているところです

もう一人は、清掃グループの関紘佑樹さんで、昨年の11月21日からブレード（タービンの翼）職場に、仕上げの現場実習に行っています。関さんの場合は期限を決めないで、ブレード職場の一員として仕事をしていく予定です。2人とも新しい仕事を覚えて後に続く社員の手本となって欲しいと一同応援しています。（野中）



得意技が増えました

確認作業が得意の武田さんが、昨年4月より客室の清掃サービスに入りしました。ベッドメイキングは「シートにシワが無いように」「四隅はきちんと三角に」「お風呂場は」と、きめ細かい作業とセンスが要求される中、実力を発揮しています。一緒に作業している二葉ビルサービスの皆さんの評判も上々です。（渡辺）



ベッドメイキング（写真上）
食堂での昼食準備（写真右）



《川崎事業所》

新しい仕事で後輩のお手本に

新たな仕事への挑戦ということ、昨年の10月1日より、製本グループの佐々木勝治さんが、FOLSの製本職場で日夜実習に励んでいます。期限は1年ぐらいいの予定で、技術習得のためにFOLSの社員と一緒に仕事をしていきます。フロンティア時代に覚えたものに加え、最近では観音製本・クロス巻き製本・くるみ製本等も1人で出来るようになりました。

《東京事業所》

「お客様に喜んで頂いています」 能力開発センター新規業務

「いらっしやいませ」「ありがとうございました」の爽やかな挨拶が印象的ですと利用者の声。昨年2月より食堂支援に岡井さんが入りました。チーフの下、多い時で170名の昼食の準備や、定時後の懇親会会場作りと忙しく働いています。次なる目標は「マイ包丁で野菜を切る」こととか。これからの楽しみです。

私の趣味・特技

私は絶対的な存在

東京 藤木 雄一郎

私は夏の時期に『ある事』で頑張っています。それは『阿波踊りのお囃子』です。やり始めたのは高校1年で、その頃は縮太鼓を担当していました。2年目には中太鼓、3年目にはついにお囃子の指揮者とも言える鐘に挑戦しました。

私が鐘の担当になったと同時に、お囃子のメンバーも年配の方々から若い方々へと大きく変わりました。以降私は現在まで毎年鐘を担当しています。なので今では私はお囃子のメンバーの中で絶対的な存在となりました。



お囃子は趣味でもあり地域活動の一環でもある(写真中央が藤木さん)

阿波踊りのお囃子は、もちろん踊り子と一緒にやるので、何をやっても楽しいですが、地域友好活動の一環としてやっている訳でもあるので、これからも続けて行きたいと思えます。

練習は7月から始まり、練習場所は私の住んでいる団地の集会所、公園、地域センターのホール、音楽室などです。たまに団地の住人からクレームが来て練習を打ち切ることがあります。でもそれはクレーム覚悟でやっているのので大丈夫です。

そして本番当日、踊り子の皆と一緒に楽しくやっていきました。多少失敗してしまいましたが、多少失敗してしまってもあります。でもそれはクレーム覚悟でやっているのので大丈夫です。お囃子を始め約10年ほどになります。お囃子を始め約10年ほどになります。お囃子を始め約10年ほどになります。

ハリ・マニアな私

三重 番家 瞳

私は大好きな映画について話します。それは「ハリポッター」です。初めて見たのは「ハリポッターと賢者の石」でした。その時はハリポッターがまだ幼かった赤ちゃんの時でした。ハリポッターの両親は既に魔法界に殺され、ハリポッターが「生き残った奇跡の子」でした。それから成長していい男性になってきました。親友のロンとハーマイオニー、いつも3人は仲良かったです。いつもこの3人が色々な事件に巻き込まれていました。

去年は「ハリポッターと死の秘宝Part2」の公開で

私はそれを物凄く感動をしました。ハリポッターは本当に勇気を持って戦っていました。最後にはハリポッターの親が出てきました。ハリポッターとお母さんの目は本当にそっくりでした。ダンブルドアとシリウス・ブラックも同じことを言っていました。



ハリー大好き!

やがてハリポッターは結婚しました。幸せな家庭を持っています。ロンとハーマイオニーも結婚していました。私は本当にハリポッターが好きなので、マニアになってしまいました。

- 2001年 「ハリポッターと賢者の石」
- 2002年 「ハリポッターと秘密の部屋」
- 2004年 「ハリポッターと炎のゴブレット」
- 2005年 「ハリポッターと不死鳥の騎士団」
- 2007年 「ハリポッターと謎のプリンス」
- 2008年 「ハリポッターと謎のプリンス」
- 2010年 「ハリポッターと死の秘宝Part1」
- 2011年 「ハリポッターと死の秘宝Part2」

ハリポッターが終わって本当にさびしいです。

キラキラ☆フレッシャーズ



- ★田川 賢太 (たがわ けんた)
- ★三重事業所
- ★電車・パソコン・テレビゲーム・ピアノ
- ★たくさん働きたいからです。
- ★シュータ組み立ての仕事頑張ります。
- ★入社おめでとうございます。これからはフロンティアの仲間です。社会人として頑張ってください。(柏木 元希)

一編集後記一

今年もキラキラの新入社員が4名入社しました。皆のイキイキとした表情を見ると、多少くたびれた感がある編集員たちも元気を取り戻せる気がします。少し季節外れですが背景にはヒマワリを選びました。社会人になっても、堂々と上を向いて人生を歩んで欲しいとの願いからです。

★Go!Go!フロンティア編集局★
(東京) 渡辺・長谷川(大崎) 岩間
(川崎) 野中(吹上) 福島(三重) 永井



- ★今井 祐輔 (いまい ゆうすけ)
- ★吹上事業所
- ★バレーボール
- ★仕事の内容が自分に合っていたからです。
- ★仕事を早く覚えたいです。
- ★一生懸命頑張るので宜しくお願いします!
- ★入社おめでとうございます。少し大人しい性格だけど、フロンティアの先輩方はみんな優しいので、一日も早く慣れてください。社会人としてフロンティアが第一歩です!明るく元気に色々な事に挑戦してください。(根岸 美喜治)



- ★篠澤 結樹美 (しのざわ ゆきみ)
- ★東京事業所
- ★子供の世話
- ★体を動かす事が好きなので、この会社に入りたいと思いました。
- ★早く仕事に慣れ、皆様と同じように仕事がしたいです。
- ★動物が出てくる番組が大好きです。家では犬・猫を飼っています。
- ★これからも自分の目標に向かって頑張ってください。(斉藤 光)



- ★中島 健太 (なかじま けんた)
- ★川崎事業所
- ★好きなこと(ゲーム・音楽鑑賞・家族やいとこ、友達との歓談)頑張っていること(ピアノ・マラソン・絵画)
- ★メール実習で、配達のためにこちらと動き回るので、やりがいのある仕事だと感じました。
- ★先輩達の話をよく聞いて、1日でも早く一人で仕事を任せられるようになりたいです。
- ★人見知りな性格ですが、何事も一生懸命努力します。自分は夢をあきらめません。
- ★判らない時は気軽に声をかけてください。色々不安があるとありますが慣れるまでが戦いです。頑張ってください。(平本 誠)